

運総発官 29 第 122 号
平成 29 年 6 月 30 日

原子力規制委員会 殿

東京都千代田区内幸町1丁目1
東京電力ホールディングス株式
代表執行役社長 小早川

福島第一原子力発電所 保安検査における指標の提出について

平成 28 年 4 月 13 日付「保安検査における指標の収集について（指示）」（原規規発第 1604135 号）に基づき、福島第一原子力発電所の平成 28 年度分データを取りまとめましたので、別紙のとおり提出いたします。

別紙

・平成 28 年度 福島第一原子力発電所 保安検査における指標について

以 上

別紙

平成28年度
福島第一原子力発電所
保安検査における指標について

平成29年6月

東京電力ホールディングス株式会社

No.	指示文書による指標	収集データ	2016年度	備考
1	安全上重要な設備 ^{※1} 、重大事故等対処設備及び多様性拡張設備に対して計画された保修作業件数及び完了済みの保修作業件数	実施計画の運転上の制限に記載されている機器において、保全計画で定められた定期的実施するもの以外で不具合等により突発的に実施する保修・改造・修繕工事の回数	4件	運転上の制限に記載されている設備に要求されている機能に影響する設備の不具合に関するものが対象
2	作業計画 安全上重要な設備 ^{※1} 、重大事故等対処設備及び多様性拡張設備に対して作業期間に係る計画変更を複数回行った件数	実施計画の運転上の制限に記載されている機器において、保全計画で定められた定期的実施するもの以外で不具合等により突発的に実施する保修・改造・修繕工事等、工事の計画時に設定した作業期間を2回以上変更した件数	1件	PTWの作業期間変更回数
3	手順書を変更して実施した作業件数	実施計画の運転上の制限に記載されている機器において、保全計画で定められた定期的実施するもの以外で不具合等により突発的に実施する保修・改造・修繕工事の件数のうちの暫定的な工事件数	1件	「暫定的な」とは、後に別の恒久対策が予定されていて、当該恒久対策とは異なる一時的な対策
4	訓練の種類別の合計実施回数・合計訓練時間・合計参加人数	①原炭法に基づく総合訓練および要素訓練の回数・人数 ②①の訓練評価に係るコメント数(訓練報告書に記載するコメント数)	①訓練の回数・人数 【総合訓練】 1回 547名 【要素訓練】 ・モニタリング訓練 3回 延べ14名 ・アクシデントマネジメント訓練 17回 延べ114名 ・電源機能等喪失時訓練 246回 延べ1231名 ②訓練評価に係るコメント数 【総合訓練】 10件	総合訓練報告書に記載する期間を集計
5	リスク 定検期間中のΔCDF(炉心損傷確率の変化)の最大値	対象外	-	-
6	警報 制御室警報表示の点灯件数(予期せぬ警報に限る)	対象外	-	-
7	安全文化 安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果	安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果		安全文化総合評価票の総合所見の記載事項を流用
8	不適合発生件数	NG I ~ NG III 毎の不適合発生件数	NG I : 11件 NG II : 88件 NG III : 564件	
9	不適合の処置が完了するまでの平均期間	年度末時点における、是正処置未完了の不適合件数(集計は不適合グレード毎)	NG I : 11件※1 NG II : 48件※1 NG III : 61件※1 旧不適合: 4件※2	※1平成26年度以降の不適合が対象 ※2平成25年度以前の不適合については、現在とグレード区分が異なる不適合管理プロセスであったため、「旧不適合」と表記する。
10	不適合の再発件数	是正処置の検討を要する全ての不適合で再発した件数	NG I : 3件 NG II : 21件 NG III : 38件	
11	不適合関連 不適合のうち安全上重要な設備 ^{※1} に関する件数	是正処置を要する全ての不適合のうち、実施計画の運転上の制限に記載されている機器に関する件数	NG I : 0件 NG II : 3件	No.1で抽出された事象のうち、NG I・NG IIの不適合
12	ヒューマン・エラーに起因する不適合件数	ヒューマンエラーと判定した不適合件数	99件	
13	不適合のうち水平展開が必要と判断した件数、完了するまでの期間及び完了件数	①年度内に発生した影響評価書の件数 ②年度末時点で未完了となっている影響評価書の件数(過年度からの継続し案件を含む)	①5件 ②14件 H26/4~H28/3(7件) 震災以前(5件) H28/4~H29/3(2件)	
14	RCA 根本原因分析を要する事象件数と直接原因分析を要する事象件数	・根本原因分析(RCA)実施件数 ・直接原因分析(NG IのHE)実施件数	根本原因分析: 0件 直接原因分析: 0件	
15	集積根本原因分析 ^{※2} を要する事象件数	共通要因分析実施件数	0件	

No.	指示文書による指標	収集データ	2016年度	備考
16	内部監査の実施回数	内部監査の実施回数	22回	
17	内部監査の指摘事項件数	内部監査の指摘事項・要望事項・良好事例それぞれの件数	指摘事項: 14件 要望事項: 8件 良好事例: 7件	
18	内部監査の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	内部監査の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	48日	
19	内部監査の指摘事項の処置期限の達成割合	内部監査の指摘事項・要望事項の処置期限の達成割合	85%	
20	内部監査による指摘事項の再発件数	内部監査による指摘事項・要望事項の再発件数	0件	
21	マネジメントレビューの実施回数	社長の行うマネジメントレビューの実施回数	1回	「2015年度マネジメントレビュー」として2016年6月に実施したものをカウント(「2016年度マネジメントレビュー」は2017年6月に実施予定)
22	マネジメントレビューによる指示事項と未完了件数	①社長の行うマネジメントレビューにおける指示事項件数 ②当年度レビュー実施後の時点での未完了の件数	①1件 ②0件	同上
23	マネジメントレビューによる再指示件数	社長の行うマネジメントレビューによる再指示件数	0件	同上
24	発電所長レビューによる指示事項と未完了件数	①発電所長レビューにおける指示事項件数 ②当該年度下期レビュー実施後の時点での未完了の件数	①1件 ②1件	
25	発電所長レビューによる再指示件数	発電所長レビューによる再指示件数	0件	
26	外部機関によるレビューの実施回数	外部機関によるレビュー・検査等の実施回数	保安検査 4回	保安検査及びIAEAのOSARTを対象とする。WANO/JANSIによるレビュー、原子力安全監視室による監視評価は対象としない。
27	外部機関からの指摘事項件数	外部機関によるレビュー・検査毎の指摘事項件数	保安検査 4件	
28	外部機関の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	保安検査 228日	
29	外部機関の指摘事項の処置期限の達成割合	指摘事項の処置期限の達成割合	保安検査 100%	
30	外部機関による指摘事項の再発件数	外部機関によるレビュー・検査毎の指摘事項の再発件数	保安検査 0件	

※1 発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する安全指針で定められているクラス1、クラス2、クラス3に属する構造物、系統及び機器
※2 複数の類似事象から共通的な問題を抽出し解決する根本原因分析(RCA)